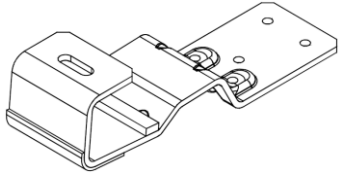
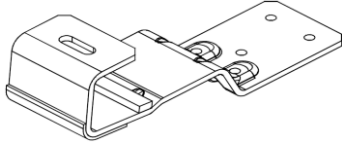
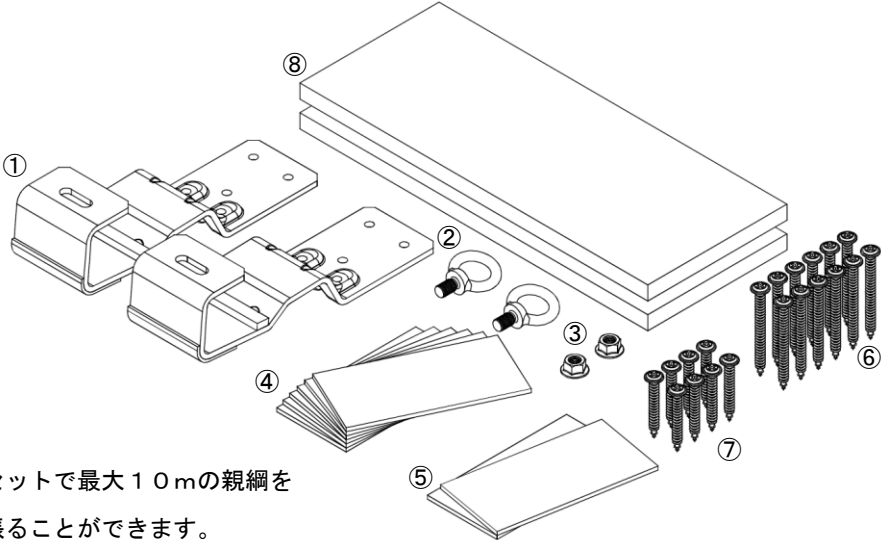


親綱金具施工要領書

1. 製品仕様

名称	親綱金具（F－1型）	親綱金具（F－2型）																														
適用瓦	スーパートライ 110 タイプⅠ/タイプⅢ	スーパートライ 110 タイプⅡ/FM306/スマート																														
親綱金具 （形状）																																
梱包内容 （1セット）	 ※1セットで最大10mの親綱を1本張ることができます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材</th><th>材質</th><th>数量</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 親綱金具 本体</td><td>SUS304</td><td>2 個</td></tr> <tr> <td>② アイボルト M8</td><td>SUS304</td><td>2 個</td></tr> <tr> <td>③ ロックナット M8</td><td>SUSXM7</td><td>2 個</td></tr> <tr> <td>④ 高さ調整板 60×120×3</td><td>耐水合板</td><td>6 枚</td></tr> <tr> <td>⑤ 防水シート 60×120×2</td><td>ゴム改質アスファルト</td><td>2 枚</td></tr> <tr> <td>⑥ 木ねじ 6×65(金具用)</td><td>SUSXM7</td><td>12 本</td></tr> <tr> <td>⑦ 木ねじ 6×45(固定台用)</td><td>SUSXM7</td><td>8 本</td></tr> <tr> <td>⑧ 固定台 300×120×12</td><td>耐水合板</td><td>2 枚</td></tr> <tr> <td>施工要領書(本書)</td><td></td><td>1 枚</td></tr> </tbody> </table>		部材	材質	数量	① 親綱金具 本体	SUS304	2 個	② アイボルト M8	SUS304	2 個	③ ロックナット M8	SUSXM7	2 個	④ 高さ調整板 60×120×3	耐水合板	6 枚	⑤ 防水シート 60×120×2	ゴム改質アスファルト	2 枚	⑥ 木ねじ 6×65(金具用)	SUSXM7	12 本	⑦ 木ねじ 6×45(固定台用)	SUSXM7	8 本	⑧ 固定台 300×120×12	耐水合板	2 枚	施工要領書(本書)		1 枚
部材	材質	数量																														
① 親綱金具 本体	SUS304	2 個																														
② アイボルト M8	SUS304	2 個																														
③ ロックナット M8	SUSXM7	2 個																														
④ 高さ調整板 60×120×3	耐水合板	6 枚																														
⑤ 防水シート 60×120×2	ゴム改質アスファルト	2 枚																														
⑥ 木ねじ 6×65(金具用)	SUSXM7	12 本																														
⑦ 木ねじ 6×45(固定台用)	SUSXM7	8 本																														
⑧ 固定台 300×120×12	耐水合板	2 枚																														
施工要領書(本書)		1 枚																														

※部材④の高さ調整板は瓦の形状によって余る事があります。

※部材⑥の木ねじ 6×65（金具用）は予備2本を含んだ数量です。

注意事項

- ・ 本資料は専門工事業者（瓦屋根）を対象としています。
- ・ 本資料は法改正、商品改良の為等により予告なく変更する場合がありますので、施工の際は本資料が最新である事をご確認下さい。
- ・ 高所作業においては、労働安全衛生規則等の法令を順守して安全作業を行って下さい。

2. 安全上のご注意

1) 親綱金具の取付け時の注意事項

△ 製品強度など性能を低下させる場合がありますので本資料の順序通りに組付けて下さい。

- ・ 屋根工事業者は正しい服装（保護帽の着用、滑り難い作業靴の使用、安全帯の使用等）で作業を行って下さい。
- ・ 設置前に親綱金具の各部に異常がないかを確認して下さい。
- ・ ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定して下さい。

2) 親綱金具の使用時の注意事項

a) 使用前の点検事項

△ 安全に使用するため、使用前に必ず下表の項目について点検を行って下さい。

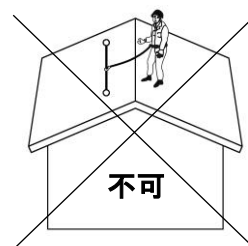
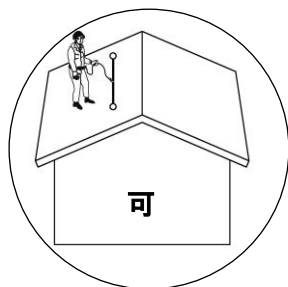
- ・ 点検で廃棄基準に該当する場合は、使用せずに新品に取り替えて下さい。

親綱金具の 廃棄基準	・ 金具のがたつき	金具本体をゆすった時、ぐらつく場合。
	・ アイボルト留め付け ナットの緩み	ナットに緩みが有れば工具を使って締め直す。
	・ 変形の有無	目視で判断できる変形があるもの。
	・ 傷の有無	深さ 1 mm 以上の傷があるもの。 微細な亀裂があるもの。
	・ 錆の有無	全体的に錆が発生しているもの。

b) 使用時の注意事項

△ 一度でも衝撃による負荷が掛かった金具は、全て新品に取り替えて下さい。

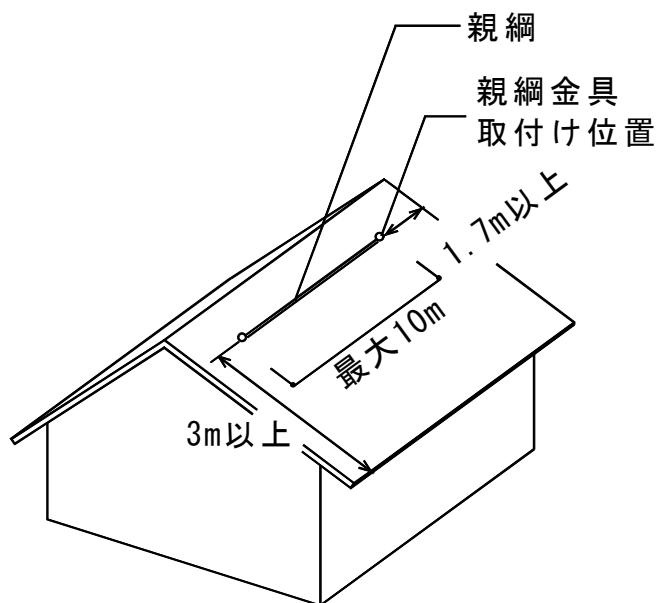
- ・ 安全帯は JIS に適用した物を使用して下さい。安全帯のランヤードの長さを 1.7 m 以内にして使用してください。
- ・ 親綱は十分な強度を持った物（社仮設工業会認定品推奨）を使用し、緩みが無い様に緊張して下さい。
- ・ 親綱は 1 スパン 1 名で使用して下さい。
- ・ 体重 85 kg（装備含む）以下を対象としています。
- ・ 親綱金具に直接安全帯を取付けて使用しないで下さい。
- ・ 親綱に安全帯のフックを掛けた時、親綱より上では使用しないでください。
- ・ 親綱金具を設置した屋根面から棟を超えて反対の屋根面での作業は禁止します。（下図参照）



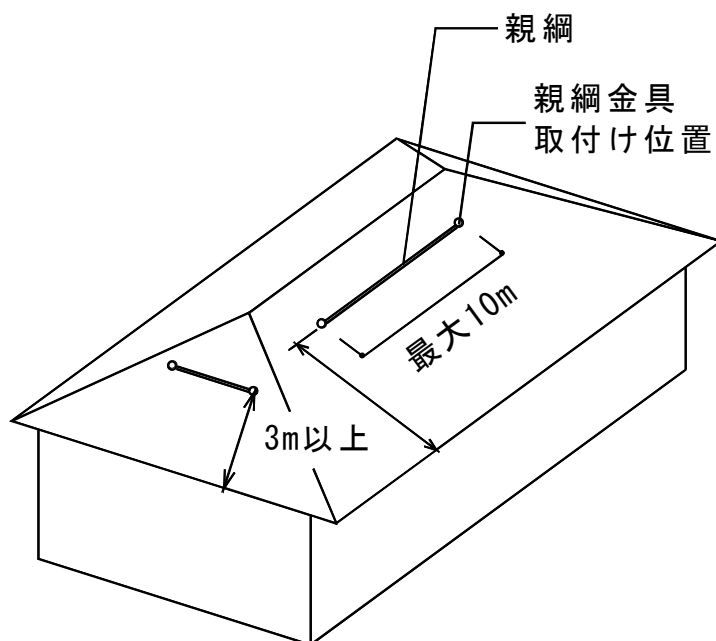
3. 設置位置

親綱金具の設置位置について

【切妻屋根の場合】



【寄棟屋根の場合】



親綱金具は軒から3m、けらばから1.7m以上離して設置して下さい。

また、親綱金具の設置間隔について横方向は10m以内として下さい。

親綱金具は軒から3m以上離して設置して下さい。

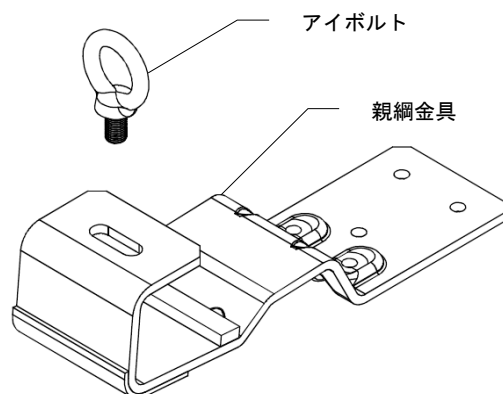
また、親綱金具の設置間隔について横方向は10m以内として下さい。

4. 施工手順

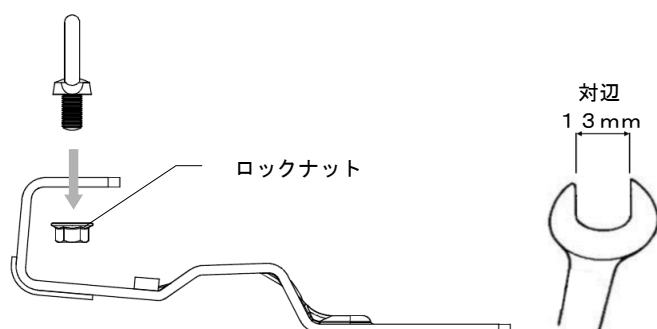
親綱金具の取付けの前準備について

【アイボルトの留め付け】

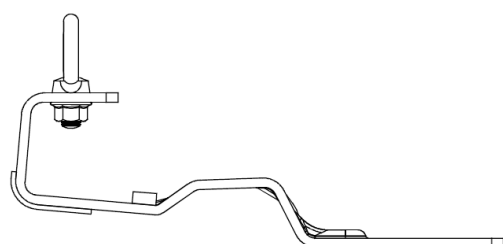
①



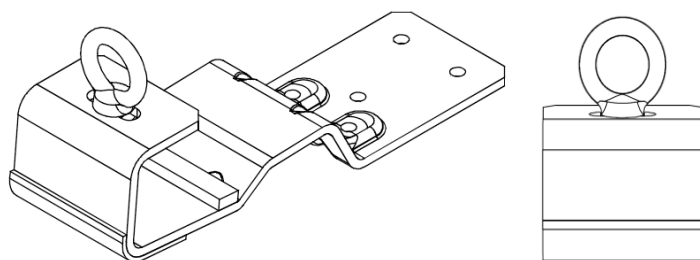
②



③



④



①親綱金具本体にアイボルトM8をロックナットM8で留め付けて下さい。

②親綱金具にアイボルトを通し、工具でロックナットを締め付けて下さい。

※対辺1.3mmのメガネレンチまたはスパナをご準備下さい。

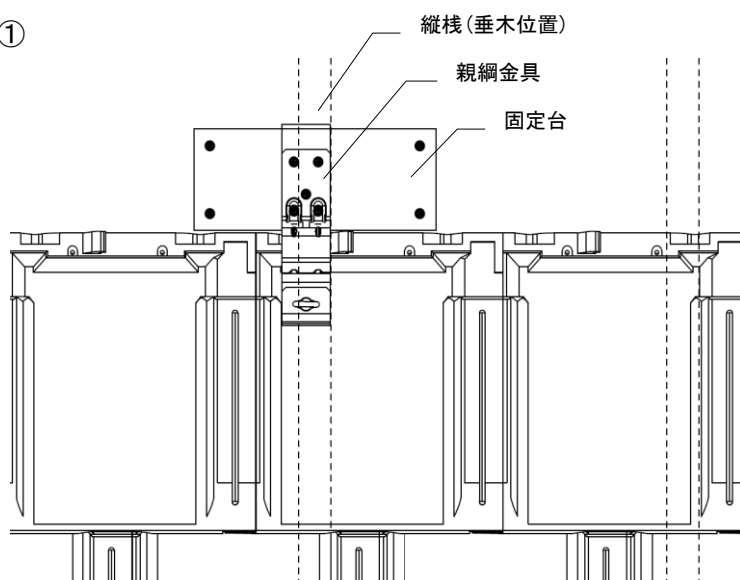
③ロックナットはフランジ部分（設置面積が広い方）を親綱金具に当てて下さい。

アイボルトにがたつきが無い様にナットは回しきって下さい。

④アイボルトの向きは親綱金具に対し横向きとなる様に留め付けて下さい。

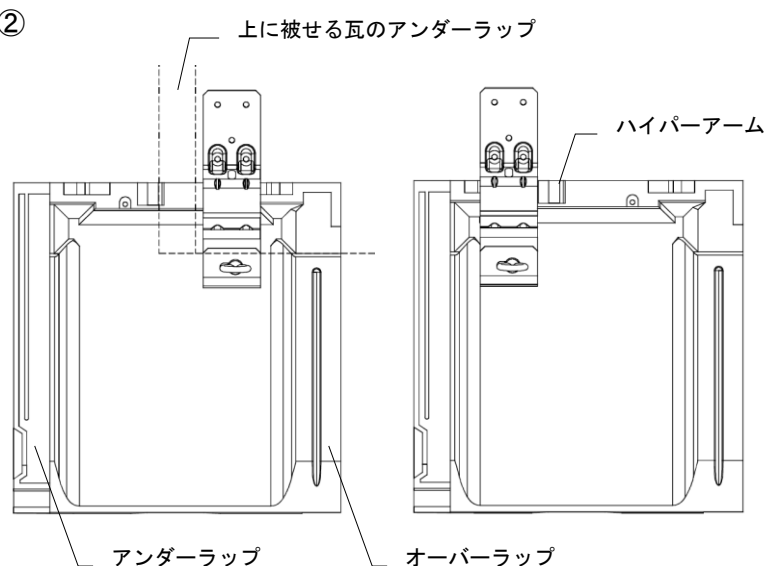
親綱金具の取付け位置について

①



①親綱金具はねじが垂木に効く様に、垂木上に設置して下さい。

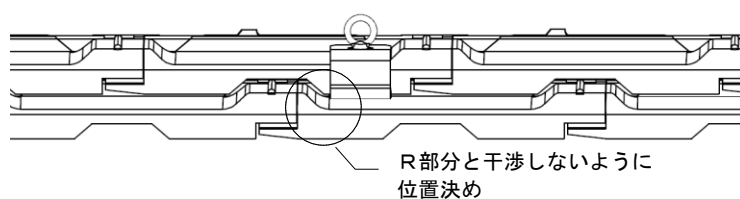
②



②親綱金具は金具が乗る瓦のオーバーラップ側でもアンダーラップ側でも施工が可能です。

親綱金具が乗る瓦のハイパーアームや、親綱金具の上に被せる瓦のアンダーラップに干渉しない位置に取付けて下さい。

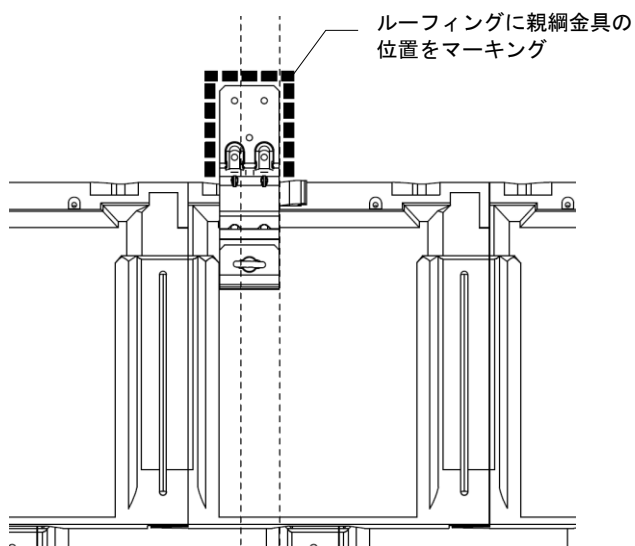
③



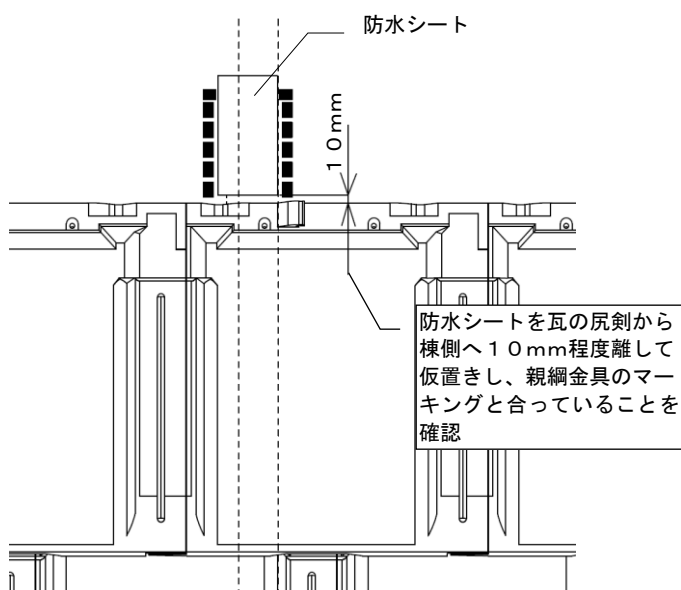
③親綱金具が瓦表面のR部分に干渉しないように位置決めを行って下さい。

親綱金具の取付け方法

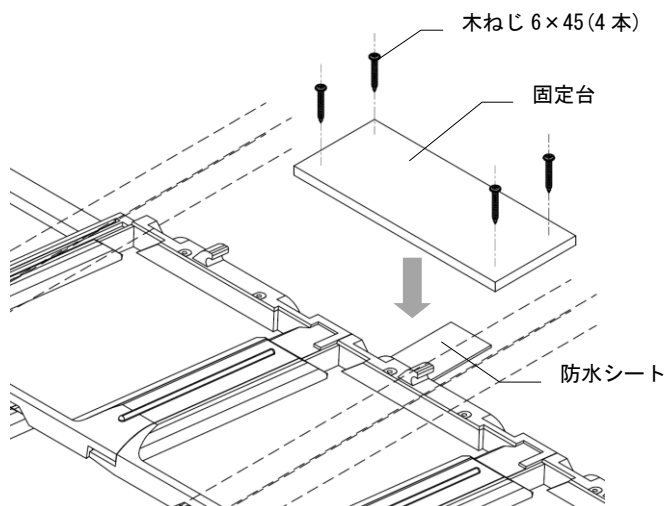
①



②



③



①親綱金具を取付ける位置は垂木上になります。金具を留め付ける5本のビスの内、3本が垂木に効く位置を確認し、親綱金具をコの字にマーキングします。

※防水シートを貼る部分の縦桟は予めカットしておいてください。

②防水シートの剥離紙を剥し、マーキングの位置に瓦の尻剣より10mm程度離して貼り付けます。

※親綱金具のビス固定部分が防水シートに納まる位置に必ず貼り付けて下さい。

※親綱金具同士の間隔が10m以内で有る事を確認して下さい。

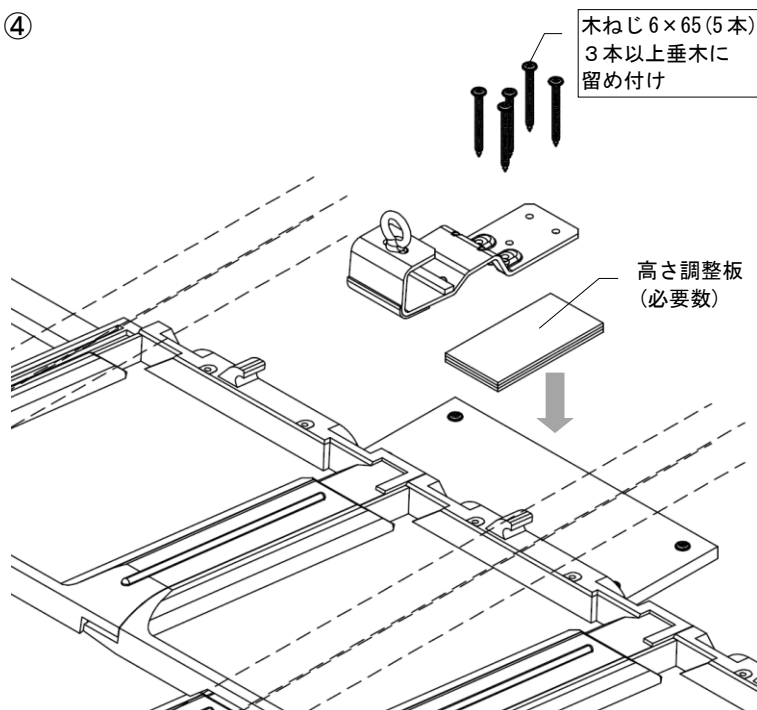
※親綱金具の取付け位置が、軒から3m以上、けらばから1.7m以上離れている事を確認して下さい。

③固定台を瓦の尻剣から3mm程度空けて配置し、位置が決まったら下穴を空け、木ねじ(6×45)4本で留め付けて下さい。

※親綱金具を取付ける位置に防水シートを忘れずに貼り付けて下さい。

※木ねじ(6×45)は野地に留め付けて下さい。

④



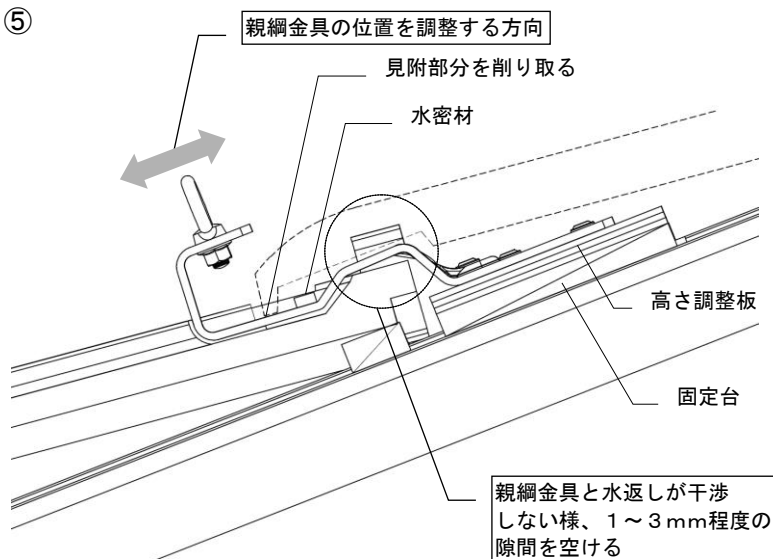
④固定台に親綱金具を仮置きして金具と瓦表面が密着するか確認して下さい。密着しない場合は高さ調整板を金具と固定台の間に挟み込んで調整して下さい。

※高さ調整板は桟木厚み 15mm時で下表の枚数を目安に使用します。桟木下の縦桟の有無や、桟木の高さ等によって使用枚数は変わります。

瓦種類	使用枚数の目安
タイプⅠ	3枚
タイプⅡ タイプⅢ FM306 スマート	2枚

※付属の高さ調整板が足りない場合は、板を追加して下さい（板は耐水合板を使用）。

⑤



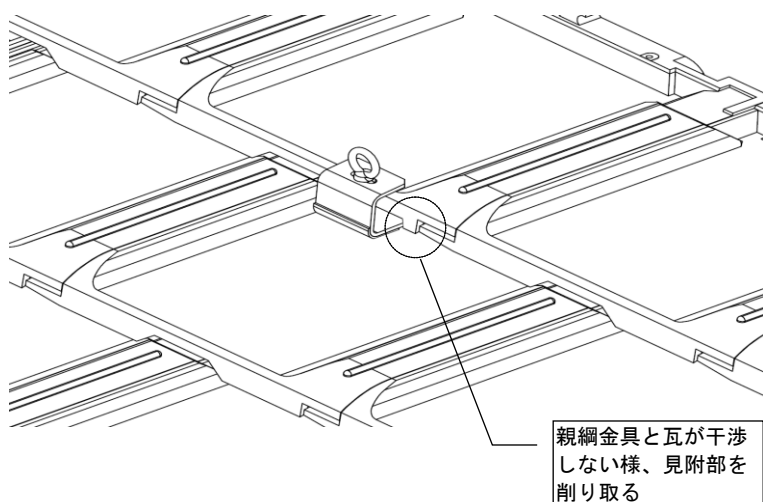
⑤親綱金具上部の水密材が瓦の頭から完全に隠れる様に取付け位置の調整をして下さい。

瓦の水返しは1～3mm程度の隙間を空けて下さい。

親綱金具はφ3ドリルで高さ調整板等に下穴を空けてから木ねじ(6×65)5本で確実に留め付けて下さい。この時、垂木にビスを3本以上効かせて下さい。

※親綱金具が瓦と密着しているか再度確認して下さい。

⑥



⑥親綱金具に被せる瓦を仮置きして、瓦の見附部に金具の幅・厚み分の印を付けて下さい。印に沿って瓦カッターやタガネを使用して削り取って下さい。削り取った見附部分に防水の為、シーラーや瓦接着剤を施工して下さい。
※瓦の形状によっては瓦裏面も削り取る必要が有ります。瓦が浮かない様に納めて下さい。

株式会社 鶴弥

株式会社 鶴弥

本社／〒475－8528 愛知県半田市州の崎町2番地12

営業部 TEL0569-29-4999 FAX0569-28-5566 (販売・価格)

開発部 TEL0569-49-0550 FAX0569-49-0553 (製品の仕様・施工)

業務部 TEL0569-29-2311 FAX0569-29-2881 (入出荷・受注)

北陸支店 〒932－0136 富山県小矢部市平田 3102 番地

TEL0766-69-1268 FAX0766-69-7268

仙台営業所 〒983－0002 宮城県仙台市宮城野区蒲生字二本木138

TEL022-254-1580 FAX022-254-1581

2013年6月現在 制定版